

One to One

多賀城市市民活動サポートセンター開館1周年記念事業開催！ ～多賀城の可能性が広がった一日～

6月1日に開館1周年を迎えた多賀城市市民活動サポートセンター(愛称"たがサポ")。多賀城市をさらに元気あふれるまちに！という目的で、6月6日(土)に行われた1周年記念イベントは、雨にもかかわらず、のべ180名の来場者で賑わいました。



会場では、多賀城市、塩竈市、利府町、松島町、七ヶ浜町の市民活動団体をパネル展示で紹介。また、アルファ米試食会や、多賀城の新名物トマト鍋「タケヒローネ」の販売も行われ、用意した100食が完売する人気ぶりでした。

たがサポは、市民活動団体に限らず、市民、自治会、学校、企業等との協働によるまちづくりを応援する施設であることから、テーマトークでは、「地域福祉」「生涯学習と地域づくり」「地縁組織」「子ども・子育て」の団体代表らが活動内容を発表しました。



△パネルディスカッションで多賀城の可能性を熱く語る

また、その後行われたパネルディスカッションでは、「多賀城市をつくるのは私たち～

たがサポが支える市民活動のあした」と題し、これからの多賀城に必要な市民活動のあり方や、その可能性について熱心な討論が行われました。

パネリストは、子育て支援グランマ代表の大澤ちか子さん、ふうどぼんく東北AGAIN(あがいん)代表の川崎豊さん、(特活)ミヤギユースセンター理事長の土佐昭一郎さんの3名です。

子育て支援グランマは、宮城県シルバー人材センターのベビーシッター講座修了生が、2006年に仙台市で始めた一時預かり託児の団体です。2年前から多賀城市でも活動を始めました。大澤さんは「メンバーは、子育てにがんばるお母さんの応援に生きがいを感じる人ばかり。ママたちに喜ばれることが、やりがいになっている」と語りました。

昨年設立された、ふうどぼんく東北AGAINは、多賀城市の天然酵母にこだわるパン屋さんが、やむを得ず廃棄される品質的に全く問題のない食品を、

仙台市の路上生活者自立支援団体に寄贈することから生まれた団体です。川崎さんは、「支援の輪を広げ、多賀城を日本フードバンク支援の厚い、魅力あふれる街にしたい」と目標を掲げました。

(特活)ミヤギユースセンターは、不登校生や高校中退者の進路支援や、若者の自立支援を目的に2001年に設立されました。仙台市で行っている勉強会には、多賀城市から通う生徒もいます。土佐さんは「家庭や地域が子どもをあたたく見守る環境づくりが必要」と語りました。

このように市域を超えて展開している団体からの発表に、コーディネーターの(特活)せんだい・みやぎNPOセンター代表理事の加藤哲夫さんは、「仙台や多賀城といった境界線を越えた活発な市民活動が、多くの人に喜びを与え、地域活動の原動力になっている。多賀城が、市民活動が盛んで、より住みやすいまちになるように、是非たがサポを利用してほしい」と呼びかけました。

たがサポが開館したことで「点が線につながるように、NPOどうしのつながりや、生涯学習団体、地縁組織の連携が生まれてきている」

と話す、工藤寛之センター長。この1年で、たがサポが新しい地域づくりの拠点として地域に根付き、これからの多賀城の市民活動がさらに活発になってゆく可能性を感じさせるイベントとなりました。



▲たがサポのマスコット、たがさぼちゃんがお出迎え

多賀城市市民活動サポートセンター

〒985-0873 多賀城市中央2丁目25-3
TEL: 022-368-7745 FAX: 022-309-3706
E-Mail: tagajo@sapo-sen.jp

NPOに市の施設を無償貸与

また、地域に子どもたちの声が

NPO法人どんぐりの家×登米市の取組

登米

登米市は、昨年3月で閉園した登米市迫の新田第2幼稚園の施設をNPO法人どんぐりの家に無償貸与しました。登米市では遊休施設の民間貸与は初めてのことです。



▲どんぐりの家 新田

どんぐりの家は、登米市南方で高齢者介護と障害児者支援の事業を展開してきていますが、今回の貸与により、登米市迫でも高齢者のデイサービスと障害児の日中一時支援事業を始めました。施設名は、「どんぐりの家新田」です。

広々とした機能訓練室や日差しがたっぷりと注ぐ調理室。デイサービスの施設と日中一時支援のホールの間には、広々とした食堂があり、高齢者と子どもが行き交う和やかな場になっています。

6月1日の開所式に参列した地元の市議員は、「また地域に子どもたちの声をもどってくるのでとても嬉しい」と祝辞を述べていました。

また、登米市の生活福祉課長志賀尚さんは、「児童デイサービスがない登米市にとっては、多くの市民から望まれていたサービスを始めるということで願ってもないことと喜んでいきます」と話しています。

NPO法人どんぐりの家は、今年の1月に(財)愛知揆一福祉振興会から「みやぎ社会貢献大賞」を受賞し、市のホームページでも紹介されました。この受賞は団体にとってさらに信頼を得る機会となったことでしょう。

施設の庭の畑に植えられたトマトやナスを見ながら、「これからもっと畑や花壇を広げ、収穫の喜びや花を愛でる安らぎを感じてもらえたら」と理事長の石川志穂子さんはこれからの施設の姿を思い描いています。



△石川志穂子理事長のあいさつ

どんぐりの家新田

住 所：〒989-4601 登米市迫町新田字対馬51番地47
TEL：0220-28-3182
開所日：月～土
時 間：9：00～16：00（応相談）

NPO支援センター

助太刀事業 受付期間延長のお知らせ

8/31迄

宮城県では、県内各地域の実情に応じたNPO活動の促進を図るため、昨年度まで行っていた「NPOマネジメント・サポート事業」に代わる事業を新たに開始します。

それが「NPO支援センター助太刀事業」です。

県内各地域のNPO支援センターや中間支援型NPO又は市町村が、講師を招いて地域のNPOやNPOに関心がある方を対象としたセミナーやシンポジウムを開催する際に、宮城県との「共催」とした場合、講師への謝金及び交通費を県から支払うというものです。

このほか、中間支援の業務として上記事業を行うNPOも対象となる場合がありますので、関心がある団体は是非、県共同参画社会推進課にお問い合わせください！

【対象団体】

- ・NPO支援センター
- ・中間支援型NPO、又は市町村

【対象事業】

- ・参加者が、特定の団体、特定活動分野の団体に限定されていない次のセミナー・シンポジウム等
- ①NPO活動の意識向上・活発化を目的とするもの
- ②NPO活動に対する理解促進を目的とするもの
- ③組織・労務管理に関するもの
- ④財務・会計に関するもの
- ⑤企画・広報に関するもの
- ⑥その他知事が認めるもの

【講師等の謝金交通費】

- ・県が講師等の謝金、交通費を負担する（講師謝金及び旅費は、県の規定による金額。支払いは県から講師へ直接行う。）

【問合せ先】

宮城県環境生活部共同参画社会推進課
NPO・協働社会推進班
TEL：022-211-2576



栗原市では、毎月第2水曜日の夜7時から、市内で活動しているNPO、市民活動団体が栗原市市民活動支援センターに集まって「Cafe Azuma-re(カフェ・アズマーレ)」を開催しています。「カフェに集まれ」という意味を込めた、その集まりは、『地域を元気にする』をテーマに、栗原市を中心に活動している、様々な分野の方を講師に招いて行われています。講師による講話会やテーマを設けたワークショップ形式での話し合い、最後には簡単な交流会という内容で、栗原市内のNPO、市民活動団体にとっての、学びと、交流の場を提供しています。主催は「サポーターズクラブ」「NPO Azuma-re」そして栗原市の3者です。

今年1月にオープンした栗原市市民活動支援センターは、会議室や印刷室などのスペースを貸し出す「貸館業務」を主として運営していますが、これからはNPO理解の促進、相談・研修業務、交流業務、情報集積と発信といった「ソフト」の部分の充実が課題となっています。そんな支援センターの「ソフト」部分を支援・サポートし



▲栗原市市民活動支援センター

ようと立ち上がった任意団体「サポーターズクラブ」の発案で「Cafe Azuma-re」は始まりました。現在では、栗原でNPO、市民活動支援を目的に活動する任意団体「NPO Azuma-re」が事務局となって運営し、支援センターの活用方法についての話し合いも行われています。

6月までに3回開催されている「Cafe Azuma-re」には、沢山の若い世代の方々と、幅広い年齢層の参加がありました。「年齢・組織・地域などの枠に囚われず、様々な交流とネットワークが生まれる集まりにしたい。」「参加者、運営者が一緒になってカフェを支援し創っていく。そんな集まりになってほしい。」とメンバーは意気込みを語っています。



▲「Cafe Azuma-re」の様子

栗原市市民活動支援センター

住所：〒987-2216 栗原市築館伊豆2丁目6-1
TEL：0228-21-2060 FAX：0228-21-2061
E-Mail：kyodo.kurihara@space.ocn.ne.jp

ソフトウェアは高価で諦めていた・・・そんな団体必見!! 6月3日、ソフトウェア寄贈プログラムがスタート

日本NPOセンターは、アメリカのTechSoup Global(NPO)の事業パートナーとなって日本のNPOにソフトウェアを寄贈する事業(TechSoup Japan)を開始しました。

一定の条件を満たした団体に提供企業3社のソフトウェア寄贈をオンラインで仲介しています。

【寄贈対象(団体)】

NPO法人、公益法人(公益社団法人、公益財団法人、特例民法法人)、社会福祉法人のいずれか

※ソフトウェアの提供企業ごとに法人格、活動分野などが決められています。対象となった団体は、数%の事務手数料でソフトウェアの寄贈を受けることができます。

【提携企業】

アドビシステムズ株式会社/株式会社シマンテック
マイクロソフト株式会社

【寄贈ソフトウェア】

- ・OS
- ・ウィルス対策
- ・事務処理、ウェブ製作 など

【寄贈の流れ】

団体登録→寄贈申請→申請受理→寄贈決定の通知(メール)
→手数料入金→ソフトウェアお届け

▼詳細や申込はウェブサイトをご覧ください。

<http://www.techsoupjapan.org/>

【お問合せ先】

特定非営利活動法人 日本NPOセンター
(TechSoup Japan運営団体) 担当: 土屋・吉田
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル245
TEL:03-3510-0855 FAX:03-3510-0856
URL: <http://www.jnpoc.ne.jp/>

NPOのための会計講座

7/8 ^水 STOP! 会計トラブル ミスや不正を防ぐお金の管理のしくみ

不正を防ぐための具体的方法から、ミスが起きてしまった時の対処まで、会計のプロがわかりやすくお伝えします。ミスや不正を防ぐお金の管理のしくみを整えて、内外から信頼される運営を目指しましょう!

- 日 時：7月8日(水) 13:30~16:30
- 講 師：成田 由加里さん(公認会計士・税理士)
- 対 象：NPO、市民活動団体の理事、会計担当者など
- 定 員：30名(申込先着順)
- 資料代：1,000円

■会計・税務相談...→ 7/24 ^(金) 8/28 ^(金)

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

◎相談対応：税理士 平野由紀子さん

■雇用なんでも相談...→ 8/20 ^(木)

NPOの雇用全般から、職場環境・人間関係の問題まで、コーチングやカウンセリングのスキルを持つ社会保険労務士がご相談に乗ります。

◎相談対応：社会保険労務士 猪狩慎一さん

■ボランティア相談...→ 毎週火曜日

ボランティア活動に関心ある方、活動に踏み出したい方の相談に対応し、NPOにつなげます。

◎相談対応：みやぎNPOプラザ副館長 藤田佐和子さん

■法人設立・団体運営相談...→ 毎週水曜日

NPO法人の設立に関わることや、NPOの運営について、お気軽にご相談ください。

◎相談対応：みやぎNPOプラザ館長 大久保朝江さん

- 時間：13:00~17:00
 - 定員：各3団体(相談時間：1団体1時間程度)
- ※事前予約が必要です。(申込締切：開催日の6日前)

NPOのための専門相談

事務局・ショップ募集

事務局・ショップ入居団体募集 予告

みやぎNPOプラザでは、NPO・市民活動団体の拠点としての事務局や、NPOによる起業を支援する常設ショップの貸し出しを行っています。この夏に、新たな入居団体を募集しますので、この機会に是非ご応募ください! 詳細は、みやぎNPOプラザまでお問合せください。

●募集施設

事務局・大
約18㎡、18,000円/月
使用期間：
平成21年10月1日~最長3年

事務局・中
約9㎡、9,000円/月
使用期間：
平成21年10月1日~最長3年

事務局・小(2室募集予定)
約4㎡、4,000円/月
使用期間：
a)平成21年10月1日~最長3年
b)平成21年12月1日~最長3年

常設ショップ
約10㎡、10,000円/月
使用期間：
平成21年10月1日~最長3年

NPO活動を始めたい!

『50歳からのNPO実践塾』 予告 9月から第3期開講!

シニア・団塊世代の市民活動参加促進を目的に、今年1月より第1期を開講した『50歳からのNPO実践塾』。

「NPOとは」を学ぶ基礎講座から、実際に希望分野のNPOでの一日体験をするまでの連続5回講座です。講座終了後もフォローアップセミナーの企画や活動状況の確認や情報提供を行っています。第3期は9月開講予定です。ふるってご参加ください。お問合せは、みやぎNPOプラザまで。

- 申込：講座・専門相談は要予約。所属団体・参加者氏名・連絡先・電話/FAX番号・質問事項をご記入のうえ、FAX・メール・電話にてお申込み下さい。
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

みやぎNPOプラザ TEL:022-256-0505
FAX:022-256-0533

■新規のNPO法人認証団体(平成21年4月18日~6月15日まで) NPO法人認証数 569団体(6月16日現在)

団体名	所在地	活動内容
森は海の恋人	気仙沼市	森づくり、自然環境の保全、環境教育に関する事業等
川崎の森を育む家づくりねっと	柴田郡川崎町	育林事業、林業・家づくりについての学習事業等
安寿	白石市	介護保険事業、高齢者福祉に関する事業
セカンドフード	仙台市青葉区	余剰食品、余剰衣料の分配による生活向上及び資源の有効活用
広瀬川ボートくらぶ	仙台市若林区	貸しボートの運営、広瀬川の市民利用の推進、広瀬川の環境整備の支援等
Up-Slope	仙台市宮城野区	国際交流事業、芸術文化振興事業
RtoS研究会	仙台市青葉区	金属資源の回収及び再資源化に関する事業
アマニ・ヤ・アフリカ	仙台市太白区	アフリカに関する国際協力
地域情報モラルネットワーク	仙台市太白区	情報セキュリティ・情報モラル啓発事業、情報セキュリティ・情報モラル教育事業等
働くお母さんと子どもを支援する会	仙台市泉区	アフタースクールの開設及び運用

One to One

発行日：2009年 7月 1日
発行：宮城県民間非営利活動プラザ
編集：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
編集スタッフ：荘司紗敏 菅原牧枝

〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5
TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533
e-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp
URL:http://www.miyagi-npo.gr.jp

2009
JULY
vol.50

「One to One」は、県内各地でのさまざまなNPO活動により、ひととひとが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるよう願いを込めたニュースレターです。